

## 2019年度第7回NPO法人共同保存図書館・多摩理事会

- 1 日 時：2020年2月6日（木） 午後6時30分から
- 2 場 所：国分寺労政会館 和室 1（3階） （国分寺市南町3-22-10）
- 3 議決権のある理事：7名  
出席者：座間直壯、齊藤誠一、田中ヒロ、堀 渡  
欠席者：清田義昭、手嶋孝典、堀越洋一郎  
事務局員の参加者：

### （1）第1号議案 会員の動向について【報告】

- ・2020年2月1日現在  
正会員84名2団体 賛助会員44名1団体、計128名3団体（合計131）  
（前回理事会時の報告から正会員1名増）

### （2）第2号議案 『多摩デポ通信』第53号の発行について【報告】

- ・2月5日付けで同号を発行した。
- ・まだ発送していない。同封する予定の第38回多摩デポ講座のチラシの文面について、都立中央図書館と最終確認が取れ次第、それを印刷し、『通信』に同封して今週中に発送する予定。

### （3）第3号議案 東京都市町村立図書館長協議会除籍資料担当者会への協力について【報告・協議】

- ・2019年12月18日（水）午後2～4時に西東京市中央図書館併設の田無公民館3階視聴覚室で開催された除籍資料担当者会の2019年度第1回の会合に参加した。
- ・この日は担当者会内の会議ではなく、多摩デポと（株）カーリルの説明を聞く会ということで、堀事務局長の説明の後、（株）カーリルの吉本氏による、TAMALASの最近の改良点（2019年3月の活用調査時の質問や要望に応じて）と、TAMALAS一括処理システムの説明、デモを行った。
- ・一括処理システムのID、パスワードを既に持っている自治体の担当者の体験を聞くことも予定されていたが、活用実態があまりなかったり、出席者とは別の図書館で使っているとのことで、話は披露されなかった。
- ・図書館システムのSEをオブザーバーとして呼ぶことも企画されたが、急な打診で応じてくれるところがなかった。各自自治体で現在採用している電算システムの一覧資料は提示された。
- ・説明を聞いた出席者全体の反応は、「TAMALASで得られる情報をどう生かすかはともかく、使ってみることはできるのではないか」との空気だった。
- ・TAMALASを使うことが進むと、そのまま“各自自治体で希少本を分担保存する”が固定することになるのではないかという不安があるのではないか。“共同保存できる施設”を生み出さねばならないという方向に向いてくれるといいのだが。
- ・その後、年末までに、青梅市、昭島市、羽村市、東大和市から、一括処理システムのID、パスワードの申請があり発行した。東大和市のみ各分館分も個別に発行、他の3市は自治体として一つのIDのみ。

### （4）第4号議案 第38回多摩デポ講座の実施について【報告・協議】

- ・見学会「都立中央図書館の保存、修復一見する・聞く一」

- ・会場：東京都立中央図書館 「書庫」「都市・東京情報コーナー」「資料保全室」
- ・3月2日（月）午後2時～3時30分 （参加者は1時50分に、職員入口に集合）
- ・三ヶ所を見学させてもらい、あわせて現在の、資料収集方針、保存計画を説明してもらおう。
- ・参加希望者は2月24日（月）までに、多摩デポまでメールで、名前と所属を書いて申し込む、ということにした。会員外の参加も可として募集する。

(5) 第5号議案 (株)カーリルとの共同研究について【報告・協議】

- ・12月11日（水）と1月28日（火）に定例会を開催した。
- ・12月は、除籍資料担当者会の事前打ち合わせが主な内容だった。
- ・1月の会では、昨年9月に調布市立中央図書館で、OBCで所蔵資料の画像を撮影したことに関連し、まだ撮影画像ではなく、調布市所蔵資料の書誌データを「多摩デポ統合検索」にかけたデータが資料として提出された。
- ・「多摩デポ統合検索」をISBNなし資料を同定、判定にどの程度使えるかを具体的に探るべく、(株)カーリルからデータを一定数預かって、メンバーで分担して研究し、次回の定例会に持ち寄るということになっている。
- ・TAMALASの検索対象に国立国会図書館の蔵書検索サイトを加えることになった。(所蔵館の館数表示のカウントには入れない)
- ・TAMALASの改良や図書館向け説明が一段落したので、今後はISBNなし資料の同定をすすめていくことに力を注ぐ。
- ・撮影させてくれた調布市の書誌と書影を結び付けたデータを整理して、調布市にはお渡しする。
- ・(株)カーリルと次年度も共同研究を継続することを確認した。

(6) 第6号議案 2020年度通常総会に向けた検討について【報告・討議】

<事務局会議からの提案・骨子>

- ・総会開催は、5月31日（日）午後、会場は国分寺労政会館を予定（会場予約は2月末日）。
- ・会費値上げは、見送る。
- ・理事は矢崎理事退任のあと補充されていないが、今回補充をすると毎年度、理事選出を行わなければならないので、新理事選出の提案は、2021年度まで見送りたい。
- ・全公図の調査結果が出て、実態が見えてくるなど、県域での共同保存の必要性、必然性は高まっている。
- ・この2年間、議案書の活動方針に「リアル共同保存図書館の準備」を書いてきたが、実際に取り組んでいくことができなかった。率直に反省の総括をして、そのことはトーンダウンしたい。約10年間（都立の協力取り付けを含め）「リアル共同保存」を実現できてこなかったのも、除籍資料担当者会に出ても空気は固い。館長達を含め、図書館現場に待望する空気は浮上していない。
- ・せめてやれそうなこと・やらねばならないこととして、来年度は「多摩デポ統合検索システム」を実用化できるように研究、改良し、システムとして公開することを目指したい。(TAMALASとあわせ、ISBNのある資料もない資料も判定できるようになることを目指す)
- ・「リアル共同保存」は、多摩デポと館長会だけでは実現が難しく、都立図書館の参加が不可欠ではないか。
- ・「リアル共同保存」実現という目標と、来年度取り組み可能な活動方針について議論が交わされたが、さらに深い論議が必要。

- ・「多摩デポ講座」ではこれまで参加者はそれほど多くなかったが、貴重な企画を提供してきたと考える。来年度にやる企画として、やり方は難しいが、現役ベテラン職員たちに集まってもらい、現場で今考えていることや保存をどう考えるかなどについて意見交換をする場を企画したい。(議案書には明記しなくても)
- ・総会記念講演会の講演者の候補をしぼって打診する。3月理事会までに決定できるようにする。

#### (8) 情報交換

- ・メーリングリストの引っ越しが終了。届かない人には1月の『通信』に確認お願いの文を同封した。
- ・「里親探し」1件成立
- ・「令和元年度 東京都多摩地域公立図書館大会」終了
- ・その他

#### 【多摩デポ記事】

- ・各地のたより イベント報告「第37回多摩デポ講座」 蓑田明子  
『みんなの図書館』2020年3月号 pp.61-63 (図書館問題研究会)
- ・『図書館情報資源概論』(ライブラリー図書館情報学⑧) 伊藤民雄著 学文社 2012  
第8章 蔵書構成の方法 10 不要資料選択 (2) 共同保存 p.152 で、記述は短いが共同保存が、一館集中型、共同保存型、分担保存型の三つに類型化され、「多摩デポ」が共同保存型として例示されている

#### 【共同保存図書館関連論文】

- ・なし

- ★ カーリルとの共同研究 第45回定例会 3月10日(火)午後6時30分～  
会場: 国分寺労政会館 和室1
- ★ 事務局会議(2019年度第12回) 2月28日(金)午後6時30分～  
会場: 調布たづくり11階みんなの広場 予定
- ★ 次回の理事会 第8回理事会 3月17日(火)午後6時30分～  
会場: 国分寺労政会館 予定

#### 5 議事録署名人の選任

議事録署名人として2名を選任することを諮り、田中ヒロ理事、堀 渡理事を選任することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

2020年2月6日

議長  
議事録署名人  
議事録署名人